

様式第2号（第5条関係）

金峰山少年自然の家の再建に伴う  
新自然の家整備基本計画（素案）に関する  
パブリックコメントの結果について

令和3年(2021年)8月30日

青少年教育課

金峰山少年自然の家の再建に伴う新自然の家整備基本計画（素案）について、市民の皆様からご意見を募集したところ、下記のようなご意見をいただきました。ありがとうございました。なお、公表にあたっては、取りまとめの都合上、ご意見を案件ごとに集約させていただきます。

記

- 1 意見募集期間 令和3年(2021年)6月7日～令和3年(2021年)7月6日
- 2 意見募集結果の公表日 令和3年(2021年)8月30日
- 3 ご意見の提出状況  
ご意見を提出された方の人数 21名  
ご意見の件数（まとめごと） 75件
- 4 提出されたご意見と、それに対する本市の考え方 別紙記載のとおり  
※いただいたご意見は、趣旨を要約させていただいております。また、同内容のご意見は一項目として取りまとめさせていただきました。

(内訳)

【対応1（補足修正）】

ご意見を踏まえて素案を補足修正または追加記載したもの 21件

【対応2（既記載）】

既にご意見の趣旨、考え方を盛り込んでいる、あるいは同種の記載をしているもの 10件

【対応3（説明・理解）】

市としての考えを説明し、ご理解いただくもの 9件

【対応4（事業参考）】

素案には盛り込めないが、事業実施段階で考慮すべき事として今後の参考とするもの 35件

【対応5（その他）】

素案に対する意見ではないが、意見として伺ったもの 0件

5 意見募集結果資料の入手方法

熊本市ホームページに掲載しており、また、青少年教育課窓口、区役所総務企画課、まちづくりセンター（中央区まちづくりセンターを除く。）、中央公民館、中央区まちづくりセンター大江交流室、中央区まちづくりセンター五福交流室、河内まちづくりセンター河内交流室、河内まちづくりセンター芳野分室、城南まちづくりセンター城南交流室、総合保健福祉センター及び各地域コミュニティセンターでも閲覧できます。

お問合せ先

熊本市教育委員会事務局

青少年教育課

電話番号 096-328-2275

金峰山少年自然の家の再建に伴う  
新自然の家整備基本計画（素案）に関する  
パブリックコメントの結果について

- |   |          |                   |     |
|---|----------|-------------------|-----|
| 1 | 意見募集期間   | 令和3年6月7日～令和3年7月6日 |     |
| 2 | ご意見の提出状況 | ご意見を提出された方の人数     | 21名 |
|   |          | ご意見の件数            | 75件 |

- 3 提出されたご意見と、それに対する本市の考え方

(内訳)

【対応1（補足修正）】

|                            |     |
|----------------------------|-----|
| ご意見を踏まえて素案を補足修正または追加記載したもの | 21件 |
|----------------------------|-----|

【対応2（既記載）】

|                                       |     |
|---------------------------------------|-----|
| 既にご意見の趣旨、考え方を盛り込んでいる、あるいは同種の記載をしているもの | 10件 |
|---------------------------------------|-----|

【対応3（説明・理解）】

|                       |    |
|-----------------------|----|
| 市としての考えを説明し、ご理解いただくもの | 9件 |
|-----------------------|----|

【対応4（事業参考）】

|  |     |
|--|-----|
| 素案には盛り込めないが、事業実施段階で考慮すべき事として今後の参考とするもの | 35件 |
|--|-----|

【対応5（その他）】

|                          |    |
|--------------------------|----|
| 素案に対する意見ではないが、意見として伺ったもの | 0件 |
|--------------------------|----|

提出されたご意見とそれに対する本市の考え方

| No. | 項目                  | ご意見等の内容   | 本市の考え方   | 対応内訳                   |
|-----|---------------------|---|--|------------------------|
| 1   | 素案全体に関する<br>こと      | <p>少年自然の家の本質的な施設用途は、教育施設である。民間による経営視点の導入は必須であるが、施設用途・配置については、十分な考慮がされないと教育施設として不十分となる可能性がある。</p> <p>施設整備・運営事業者の決定にあたっては、この点を考慮いただきたい。</p> | <p>社会教育施設として、青少年の教育活動を支援するとともに、多くの市民の皆様が、気軽に豊かな自然に親しみながら、学び、遊び、考える自然体験活動の拠点施設として、整備・運営してまいります。</p> | <p>対応 4<br/>(事業参考)</p> |
| 2   |                     | <p>金峰山少年自然の家の立地は市街地から遠くなく、道路も整備されており、とても良い環境にあると思われるので、自然の家の再開を心待ちにしている。</p>  | <p>金峰山少年自然の家の再建に際しては、多くの青少年や市民の皆様が気軽に自然に親しめる拠点施設となるよう整備・運営してまいります。</p>                             | <p>対応 4<br/>(事業参考)</p> |
| 3   |                     | <p>「金峰山少年自然の家」は、私自身も小学生の頃宿泊し、良い思い出となっております。特別な場所という感覚。</p> <p>ぜひ再建していただき、以前にも増して有効活用ができるようお願いする。</p>                                      |  | <p>対応 4<br/>(事業参考)</p> |
| 4   | I.<br>はじめに<br>(P 5) | <p>小学 5 年生の集団宿泊教室は、子どもたちの健全な育成に必要な自然体験学習である。現在、自然の家が休所している中、県内の少年自然の家等を利用していると聞いている。</p> <p>現在の集団宿泊教室の実施状況を記載してはどうか。</p>                  | <p>ご意見を踏まえて、現在の小中学校の集団宿泊教室の実施状況を追記します。<br/>(P 5)</p>   | <p>対応 1<br/>(補足修正)</p> |

|   |  |   |  |               |
|---|--|---|--|---------------|
| 5 | Ⅲ.<br>施設整備<br>にあたっての考<br>え方<br>(P23)             | 魅力ある主催事業を展開<br>する必要がある。<br>例えば、金峰山でしか味わ<br>えない「三山達成ウルトラ登<br>山」や、地元の産業とコラボ<br>して、ミカン狩り、梨狩り、<br>ブドウ狩りの企画など良い<br>かと思う。                 | ご意見を踏まえて、金峰<br>山周辺の自然や歴史、文<br>化、産業等にふれることが<br>できるよう、地域等との連<br>携によるプログラムの提<br>供等の検討を追記します。<br>(P23) | 対応1<br>(補足修正) |
| 6 |  | 家族で利用しやすい環境<br>を整えると3月、4月、8月<br>の利用者も増えるのではな<br>いか。<br>学校関係でないと利用で<br>きないイメージがあり、そこ<br>を払しょくする必要がある。<br>せっかくの自然に恵まれ<br>た環境を生かしてほしい。 | ご意見を踏まえて、広く<br>青少年団体や市民の皆様<br>にご利用いただけるよう<br>な広報や自然等を活かし<br>たプログラムの提供等の<br>検討を追記します。<br>(P23)      | 対応1<br>(補足修正) |
| 7 |  | 青少年活動や野外活動を<br>推進するために、社会教育主<br>事資格者やキャンプディレ<br>クター等の配置が必要。   | ご意見を踏まえて、社会<br>教育専門家や野外活動指<br>導者等の配置等により、施<br>設機能の効果的な運営の<br>検討を追記します。<br>(P23)                    | 対応1<br>(補足修正) |
| 8 | Ⅲ.<br>施設整備<br>にあたっての考<br>え方につ<br>いて (P23<br>・24) | 金峰山では、日ごろより多<br>くの登山やサイクリングを<br>楽しむ方がおられる。<br>そのような方々が休憩で<br>きるような施設があれば、賑<br>わいの創出につながると思<br>う。                                    | ご意見を踏まえて、金峰<br>山登山者やサイクリング<br>で金峰山周辺へおいでい<br>ただいた方々に、自然の家<br>での休憩等の立ち寄り利<br>用の検討を追記します。<br>(P23)   | 対応1<br>(補足修正) |
| 9 |  | 地域の方とつながること<br>ができる場があればと思う。<br>休日はマルシェがあったり<br>、登山者の休憩スペースが<br>あったり、交わりのあるこ<br>とがゆるいつながりを保てる。                                      |  | 対応1<br>(補足修正) |

|    |  |  |  |               |
|----|--|--|--|---------------|
| 10 | Ⅲ.<br>施設整備<br>にあたっての考<br>え方について<br>(P23) | 地域住民と連携して、ミカン農園や、なし農園の体験作業を野外活動プログラムに取り入れられないか。  | ご意見を踏まえて、地域住民等との連携による体験プログラムの提供等の検討を追記します。<br>(P23)  | 対応1<br>(補足修正) |
| 11 | Ⅲ.<br>施設整備<br>にあたっての考<br>え方<br>(P23・29)  | 利用者ニーズの高いテント泊をするために、6人～8人収容の常設テント(フレッシュエア型テント)を整備することによって、青少年団体やファミリーの利用者増につながると思う。                              | ご意見を踏まえて、多くの青少年団体、市民の皆様にご利用いただけるよう、テント泊などができるテントサイト整備の検討を追記します。<br>(P23)                               | 対応1<br>(補足修正) |
| 12 | Ⅲ.<br>施設整備<br>にあたっての考<br>え方<br>(P23・27)  | 4基本方針 自然体験活動の学びの基盤として、人づくり・つながりづくり・地域づくり<br>社会教育士が中核的な役割を果たす。専任社会教育士の配置、自然の家サポーター委嘱(無償)                          | 運営にあたって、人づくり・つながりづくり・地域づくりの視点は重要な取り組みと考えます。<br>基本方針としての追加はしませんが、ご意見を踏まえて、運営にあたっての考え方に一部追記します。<br>(P23) | 対応1<br>(補足修正) |
| 13 | Ⅲ.<br>施設整備<br>にあたっての考<br>え方<br>(P25)     | SDGsの理念を踏まえての各種取組は必要と思う。新施設の整備・運営における、SDGsの17の目標と169のターゲットの中で、代表的なものを掲載したが良い。                                    | ご意見を踏まえて、本事業の特性としての代表的な目標・ターゲットの中での取組事例を追記します。<br>(P25)  | 対応1<br>(補足修正) |
| 14 |  | 「熊本市SDGs未来都市」であるなら、開発目標のゴールターゲットの中で以下3点は明示すべき。①ESDに活かす生徒の自然体験 ②社会教育・学校教育・家庭教育の参加の自然体験 ③大学・企業・市民連携・共創の自然体験からの地域貢献 |  | 対応1<br>(補足修正) |

|    |   |   |  |              |
|----|---|---|--|--------------|
| 15 | Ⅲ.<br>施設整備<br>にあたっての考<br>え方<br>(P23)                | 既存施設では、使用料金が無料であるとは知らなかった。当然適切な使用料を取るべきである。   | 使用料金については、安定的な施設運営を行うために、維持管理に必要な宿泊料や食事代等の実費負担分も含めて検討してまいります。  | 対応2<br>(既記載) |
| 16 |   | 新自然の家利用者からの低額（民間野外活動に比較）料金  | 使用料金については、安定的な施設運営を行うために、維持管理に必要な宿泊料や食事代等の実費負担分も含めて検討してまいります。  | 対応2<br>(既記載) |
| 17 | Ⅲ.<br>施設整備<br>にあたっての考<br>え方につい<br>て<br>(P22<br>・23) | <p>一般、企業などへ利用拡大し、魅力ある施設に整備し直すことは大いに賛成。しかし高級路線・利便性重視のグランピング施設の設置は不要。</p> <p>子どもたちが自然体験ができるように、テント設営を手伝う工夫やキャンプの値段は無料にすることが必要。</p> <p>他の自治体が運営するキャンプ場はほとんどが無料。一方で営利企業が宿泊施設を利用する場合には収益を見込んだ価格設定にすることが適当であると考えます。</p> | <p>子どもたちをはじめ、多くの市民の皆様が、気軽に豊かな自然に親しみながら、学び、遊び、考える自然体験活動の拠点施設として、整備・運営してまいります。</p> <p>使用料金については、安定的な施設運営を行うために、維持管理に必要な宿泊料や食事代等の実費負担分を検討してまいります。</p> | 対応2<br>(既記載) |
| 18 | Ⅲ.<br>施設整備<br>にあたっての考<br>え方につい<br>て<br>(P23)        | 利用者が減る春休み・夏休み期間中の利用者を増やす意味でも、また、青少年の健全育成に寄与する施設として利用を促す意味でも、社会教育団体のニーズに対応したプログラムの検討も必要と思う。  | 子ども会等の多くの青少年団体にご利用いただけるよう、利用者ニーズに沿った様々な自然体験活動等のプログラム提供等を検討してまいります。   | 対応2<br>(既記載) |

|    |  |   |  |                        |
|----|--|---|--|------------------------|
| 19 | <p>III.<br/>施設整備にあたっての考え方<br/>(P6・9<br/>14・27)</p> | <p>稼働率が 67.1%となっており、児童の集団宿泊教室がないシーズンにおいて、施設が活用されていないことが、収入等にも影響を与えていると思う。</p> <p>持続可能で安定的な公共サービスの提供を維持できるよう、コスト削減、収入の向上(稼働率の向上)は必須項目と考える。</p> | <p>学校の集団宿泊教室が利用のない時期に、青少年団体やファミリー等の多くの市民に利用いただくよう周知をはじめ、主催事業の実施や魅力あるプログラムの提供に努めながら、安定的な公共サービス等の提供に取り組んでまいります。</p>      | <p>対応2<br/>(既記載)</p>   |
| 20 | <p>III.<br/>施設整備にあたっての考え方<br/>(P23)</p>            | <p>集団宿泊教室を県や国の施設を利用して行うのではなく、金峰山の大自然を体験しながら行ってほしい。</p> <p>本市の自然に触れることは、郷土愛の育成にもつながる。まずは、市内全小学校を受け入れてほしい。(1泊2日でも良いと思う)</p>                     | <p>社会教育施設として、小学生の集団宿泊教室の利用を最優先に確保し、学校利用のない期間は、青少年団体や市民の皆様にご利用いただくこととしています。</p>   | <p>対応2<br/>(既記載)</p>   |
| 21 |  | <p>小学生の集団宿泊教室において、単独校での利用調整が難しいのであれば、収容人数を増やし、学校の利用希望日に複数校同時利用可になるよう発想転換できないか。</p>  | <p>収容人数の拡大については、現地建て替えを行う上で困難ですが、利用希望調査を実施した上で、小規模校の同時利用等についても学校と調整してまいります。</p>  | <p>対応3<br/>(説明・理解)</p> |
| 22 |  | <p>ニーズに対応したプログラムという表現があることから、自由キャンプではなく、管理者のプログラムに沿った活動が求められるということか。</p> <p>また、管理者が企画した泊りがけのプログラムに応募するという形は、個人でも家族でも企業単位でも良いということなのだろうか。</p>  | <p>施設利用者自身のプログラムを基本としますが、利用者のニーズをお聞きしながら、プログラムの紹介や必要に応じて活動支援等を行ってまいります。</p> <p>主催事業は、企画内容により、参加対象者を募集して、運営してまいります。</p> | <p>対応3<br/>(説明・理解)</p> |

|    |                                 |   |  |                 |
|----|---------------------------------|---|--|-----------------|
| 23 | Ⅲ.<br>施設整備にあたっての考え方<br>(P26)    | 基本理念の学び、遊び、考えるに「行動する」を追加する。 図表 28 の行動する「考えたことを他者 (AI 含む) と協働して実践し考察する能力を磨く」   | 自然体験活動を通して、主体的に考え、行動する力を育むことで、ESD (持続可能な社会の担い手を育む教育) を推進することとしています。  | 対応 3<br>(説明・理解) |
| 24 | Ⅲ.<br>施設整備にあたっての考え方<br>(P23・26) | 基本計画策定にあたって、青少年の教育に限定することなく、全世代を対象とし、「誰もが豊かな自然に親しみながら、生涯を通じて学び、考え、たくましく生きる力を涵養できる施設」とし、全ての人々が利用できる施設であることを理念として、全面に出したらどうか。 | 全ての市民を対象としていますが、社会教育施設として、小学生の集団宿泊教室の利用を最優先に確保し、学校利用のない期間は、広く市民の皆様へ、気軽に自然に親しめる自然体験の拠点施設として、運営していくこととしています。 | 対応 3<br>(説明・理解) |
| 25 | Ⅲ.<br>施設整備にあたっての考え方 (P23)       | 博物館とのコラボ展示もできれば面白いと思う。スペースも含めて検討いただきたい。   | 博物館との共同プログラム等を検討する上で、コラボ展示等も検討してまいります。   | 対応 4<br>(事業参考)  |
| 26 |                                 | 公共交通によるアクセスは、「峠の茶屋」バス停より徒歩約 22 分とあるが、バス会社に交渉し、峠の茶屋から登山口 (さるすべり登り口) までのルートの延伸を要望し、自然の家入口バス停を新設できないか。                         | 利用者のニーズや交通手段等の調査を行いながら、必要に応じてバス会社への相談や施設側のバス停までの送迎も検討してまいります。  | 対応 4<br>(事業参考)  |
| 27 |                                 | 過去、熊本市の野外教育は、小学 5 年で舎営、中学 1 年で野営と段階を経て行われており、大変な思いをして作った食事を食べることで学校生活では経験できない、協力や仲間意識、自然との共生を学ぶ貴重な経験が現在では失われているのではな         | 現在、中学校の集団宿泊教室における活動は、自然の中で、寝食を共にした様々な体験学習活動等を通して、自然への理解を深めるとともに、仲間との協調性や豊かな感性を育むなど、子どもたちの成長に欠かせない教育活動です。   | 対応 4<br>(事業参考)  |



|    |  |  |  |                       |
|----|--|--|--|-----------------------|
|    |  | <p>いか。</p> <p>中学生の集団宿泊教室について、市はどのように検討されているのか知りたい。</p>   | <p>引き続き、安全で教育的効果の高い活動となるよう支援してまいります。</p>   |                       |
| 28 | <p>III.<br/>施設整備にあたっての考え方<br/>(P23・27)</p> | <p>周辺には様々な施設があり、自然に恵まれた立地条件である。関連付け・連携した魅力的なプログラムができれば、利用希望者も増えるのではないかと。</p> <p>「俳句づくり」の宿泊研修や野鳥観察・学習の宿泊教室、ミカン狩り体験宿泊、星空観察教室など、いろいろできそうな気がしてきた。</p>                      | <p>金峰山周辺には、素晴らしい自然や歴史、文化施設、産業等があります。</p> <p>その地域資源を活かし、地域等との連携によるプログラムの提供等を検討してまいります。</p>                          | <p>対応4<br/>(事業参考)</p> |
| 29 | <p>III.<br/>施設整備にあたっての考え方<br/>(P24)</p>    | <p>周辺の様々な資源を活かした活用ができそうである。</p> <p>運営にあたっては、在野の様々な能力を持った埋もれた人材の発掘と、その利活用が求められる。</p> <p>また、運営企業等による委託になるだろうが、考えているうちに少し明るい未来が見えてきた感を持った。</p>                            |  | <p>対応4<br/>(事業参考)</p> |
| 30 | <p>III.<br/>施設整備にあたっての考え方<br/>(P27)</p>    | <p>現代的な要素を取り入れて、広く市民のニーズにあった施設になることはありがたい。</p> <p>野外活動の本質も大事にし、若干の不便さを自分たちの知恵で解決する、工夫するといった部分をぜひ残していただきたい。</p> <p>また、新しいプログラムの開発と、ナイトハイクは人気のプログラムだったので、活かしていただきたい。</p> | <p>豊かな自然を活かした様々な体験活動等を通して、子どもたちに生きる力を身につけ、次代を担う人づくりにつなげていきたいと考えております。</p> <p>ご意見も踏まえて、プログラムの継続、開発等に取り組んでまいります。</p> | <p>対応4<br/>(事業参考)</p> |

|    |                                 |   |   |               |
|----|---------------------------------|---|---|---------------|
| 31 | Ⅲ.<br>施設整備にあたっての考え方<br>(P27)    | 食事は、利用者がとても楽しみにしている。温かいメニューがおなかいっぱい食べられるように、ご飯のおかわりサービスも必要。汁物のおかわりは評判が良かった。   | 食事運営面においても、民間のノウハウを活用した運営や新たなサービスの提供を検討してまいります。                                     | 対応4<br>(事業参考) |
| 32 | Ⅳ.<br>導入機能・施設<br>(P28)          | 地域の人を交えた交流ができれば、参加者も新たな体験、発見ができるのではないかと。<br>農産物収穫体験プログラムや地形の学習を兼ねての見学・散策コースなどが考えられる。金峰山の成り立ちや周辺地形と農産物・産業との関係など「地域の学習」の要素もあった方が良くと思う。        | ご意見を踏まえて、金峰山周辺の自然や歴史、文化、産業等の地域に根差した体験学習活動機能があることに修正します。<br>(P28)                    | 対応1<br>(補足修正) |
| 33 | Ⅳ.<br>導入機能・施設<br>(P28・29・32・36) | 地震や風水害の被害は地域差が大きいことから、市全体として、様々な地域や条件の施設を災害時に対応することを想定しておくべき。<br>特に高度なバリアフリー化で高齢者や障がい者への対応、屋外の広場等の活用でテントによる避難など、コロナ感染防止対策、家族単位での避難生活への対応が可能 | ご意見を踏まえて、災害時における避難対応等ができる機能を追記します。<br>(P28)   | 対応1<br>(補足修正) |
| 34 | Ⅳ.<br>導入機能・施設<br>(P27・28・36)    | 大規模災害時の一時避難や中長期の避難に対応可能な施設として、ライフライン途絶を想定し、井水、食糧備蓄、薪を含めた燃料の確保を検討いただきたい。<br>設備計画において、井水の利用可能性を検討いただきたい。                                      | ご意見を踏まえて、災害時に、一時避難等の対応への検討を行うことを追記します。(P36)<br>また、井水の利用可能性については、設備計画において、検討してまいります。 | 対応1<br>(補足修正) |

|    |                                     |  |   |                |
|----|-------------------------------------|--|---|----------------|
| 35 | IV.<br>導入機能<br>・施設<br>(P 29)        | <p>図表 31 必要と想定されている機能に、指導者養成機能が抜けている。</p> <p>以前、市教委で育成していたキャンプカウンセラー育成や青少年育成にかかわる職員を対象に行う青少年指導者技術講座など、次代を担う野外活動指導者養成は必要である。</p>  | <p>ご意見を踏まえて、青少年の成長を支援していくため、青少年活動や野外活動の指導に必要な知識や技術を習得する機能を追記します。</p> <p>(P 29)</p>              | 対応 1<br>(補足修正) |
| 36 | IV.<br>導入機能<br>・施設<br>(P 28<br>・29) | <p>独立したキャンプ場の併設 (50 人程度収容)</p> <p>ファミリーや大人のグループも利用しやすく、市民に幅広く利用してもらえる施設整備</p> <p>雨天時の活動を想定した屋内の施設整備</p> <p>障がい者も利用しやすい施設整備</p> <p>個人のプライバシーに配慮した施設整備</p> <p>小グループ活動を展開しやすい施設整備</p> | <p>ご意見を踏まえて、テント泊をはじめ、野外での活動や小グループ等で利用しやすく、また、バリアフリー対応など、安全で安心して利用できる機能を追記します。</p> <p>(P 29)</p> | 対応 1<br>(補足修正) |
| 37 | IV.<br>導入機能<br>・施設<br>(P 29)        | <p>図表 31</p> <p>学習機能:生きる上で大切なものを自ら発見する(原始時代を想定し自ら火おこしから職までの探検)</p> <p>交流機能:近隣の窯業・フラワーデザイン・豆腐製造・梨生産などの人々の製作(生産)参加と、高齢者サロンとの交流</p> <p>情報発信機能:「世界に一つだけの作品」など、ESD 教育に活用</p>            | <p>ご意見を踏まえて、地元住民等とのふれあいや地域の産業を体験し、交流を促進する機能を追記します。</p> <p>(P 29)</p>                            | 対応 1<br>(補足修正) |

|    |                                    |   |  |                        |
|----|------------------------------------|---|--|------------------------|
| 38 | IV.<br>導入機能<br>・施設<br>(P28)        | <p>宿泊棟はベッドのみだったが、和室とかいろいろなタイプの部屋を用意することで、年齢や人数に関係なく利用しやすくなる。</p>  | <p>学校の利用はもとより、青少年団体や家族、小グループ等の宿泊人数に応じて利用しやすい宿泊機能の導入を検討してまいります。</p>   | <p>対応2<br/>(既記載)</p>   |
| 39 | IV.<br>導入機能<br>・施設<br>(P29)        | <p>事前に施設利用の申し込みをしていなくても、気軽に訪問し、自然に触れ合うことができる場としてほしい。</p> <p>そのためには、駐車場の充実や無料での休憩スペース、Wi-Fi 設備、飲水施設、水洗トイレ、自動販売機などがあり、読書もできるようなリラックスできる場所を作してほしい。</p> | <p>施設利用の申込方法や気軽に継続的に自然に親しめる施設となるよう整備・運営を検討してまいります。</p>   | <p>対応2<br/>(既記載)</p>   |
| 40 |                                    | <p>「天体観測テラス」は素晴らしいアイデアと思う。</p> <p>ぜひ、多くの子どもが同時に観測できるような設備の充実をお願いします。</p>  | <p>天体観察テラスの導入と博物館等との連携によるプログラムの充実を検討してまいります。</p>   | <p>対応2<br/>(既記載)</p>   |
| 41 |                                    | <p>自然豊かでありながら、市内中心部からは非常にアクセスしやすい立地にある。</p> <p>そのため、キャンプ施設が整備されれば、ぜひとも利用したい。</p>  | <p>野外活動機能として、広場のテントサイト整備や野外炊飯棟等の整備を計画してまいります。</p>  | <p>対応2<br/>(既記載)</p>   |
| 42 | IV.<br>導入機能<br>・施設<br>(P28<br>・29) | <p>森林学習展示室があるが、自然環境は、一步外に出れば存分に味わえるので不要ではないか。</p> <p>それよりも、市立図書館と連携した図書室を設け、定期的に読書会等のイベントを開催しても良いのではないか。</p>  | <p>施設内外に、林業・森林環境や自然保護について学べる機能として、森林学習ができる展示室（コーナー）を整備してまいります。また、市立図書館と連携した図書コーナーの設置やイベントの開催等を検討してまいります。</p> | <p>対応3<br/>(説明・理解)</p> |

|    |                             |   |  |                |
|----|-----------------------------|---|--|----------------|
| 43 | IV.<br>導入機能<br>・施設<br>(P29) | 部活動の合宿でトレーニングに使える芝のグラウンドなどがあれば、さらに活用の幅が広がると思う。  | 合宿等においては、体育館や広場等を活用できますが、敷地面積に限りがあるため、近隣の運動施設も紹介してまいります。                       | 対応3<br>(説明・理解) |
| 44 |                             | 雨が降ったときに活動ができなくなるので、屋根付きの屋外運動場的なものがあると良い。   | 雨天時の活動場所として、屋根付きの屋外多目的ハウスや体育館を活用していただくこととしています。                                | 対応3<br>(説明・理解) |
| 45 |                             | テントで宿泊というのはとても魅力があるが、なかなか簡単にできるものではない。キャンプ協会等の協力を得ながら底辺の拡大を狙いたい。  | 各種野外活動団体と連携したプログラムの提供や活動支援等を実施してまいります。   | 対応4<br>(事業参考)  |
| 46 |                             | 小学生の集団宿泊教室でのテント泊は、手慣れた先生がおられない限りとても厳しい。テント泊は、中学生以上の年代に向けての設計で良いのではないか。  | テント泊希望の方には、必要に応じてテント備品の貸し出しやテント設営・撤去方法等の活動支援を行ってまいります。                         | 対応4<br>(事業参考)  |
| 47 |                             | 木を利用したアスレチック・スラックラインなどクライミングもそうだが、体感を鍛える遊びを盛り込んでほしい。<br>Wi-Fi環境、学校生徒以外でも利用しやすい環境                                | 自然の素材を活用した設備やプログラムを提供してまいります。<br>また、Wi-Fi環境を整備するなど、利用者のニーズにあわせた整備運営を検討してまいります。 | 対応4<br>(事業参考)  |
| 48 |                             | クライミングウォールは、子どもから大人まで楽しめる。<br>高さのあるウォールは、大変ハードルが高くなるため、横に長いウォールの設置を期待する。もちろん一部は、高さのある部分があれば難易度に合わせた活動の設定が期待される。 | クライミングウォールの設置に際しては、ご意見も踏まえ、検討してまいります。  | 対応4<br>(事業参考)  |

|    |  |  |  |               |
|----|--|--|--|---------------|
| 49 | IV.<br>導入機能<br>・施設<br>(P 29)           | <p>新型コロナウイルスの影響により、日帰り事業を行う学校も想定されるため、様々なコースやプランが準備される必要がある。</p> <p>従来のウォークラリーコースやナイトハイクコース、森林ビンゴエリアはぜひ継続していただきたい。</p>                           | <p>利用者ニーズや自然に親しむ活動を促進するためのプログラムやコース設定等を企画してまいります。</p> <p>また、今後とも引き続き、森林管理局のご協力をいただき、森林学習プログラムを展開してまいります。</p> | 対応4<br>(事業参考) |
| 50 |  | <p>雨の時に出来るプログラムが不足してしまうのは、どこの施設でも悩みの種だった。室内での工作活動、グループ活動など、楽しく安価にできる雨の日プログラムが欲しい。</p>  | <p>利用者が充実した活動ができるよう、雨天プログラムの開発や提供に取り組んでまいります。</p>  | 対応4<br>(事業参考) |
| 51 | IV.<br>導入機能<br>・施設<br>(P 28<br>・29)    | <p>「図表 30 導入機能・施設」の中に、マウンテンバイクコースの新設はどうだろうか。仲間や家族で森の中を自転車で走らせることで、季節を問わず自然を満喫できるに違いない。</p>   | <p>マウンテンバイクのコース新設は、本施設の敷地面積から困難ですが、施設周辺の国有地所管部署にも相談してまいります。</p>  | 対応4<br>(事業参考) |
| 52 | IV.<br>導入機能<br>・施設<br>(P 28<br>・29・32) | <p>「アスレチック」や「自然を活かした遊具」は、車椅子利用等子どもたちでも遊べるようなインクルーシブな視点を盛り込んだものにしてほしい。</p> <p>障がいに関係なく、存分に自然を満喫することができる施設であってほしい。そのような施設ができることで、より多くの利用が見込める。</p> | <p>施設や設備の整備においては、ユニバーサルデザインを基本に計画してまいります。</p>  | 対応4<br>(事業参考) |

|    |  |   |  |               |
|----|--|---|--|---------------|
| 53 | IV.<br>導入機能<br>・施設<br>(P 28<br>・29)    | <p>芳野地区には、肥後象眼、陶芸の窯元、あるいはフラワーアレンジメント、ウェディングドレス政策に取り組むアーティストも在住している。</p> <p>地域住民との交流ということで、彼らの活躍の場もあるのではないかな。</p>  | <p>地域住民等との連携によるプログラムの提供や地域情報の発信、交流を創出するよう取り組んでまいります。</p>   | 対応4<br>(事業参考) |
| 54 | IV.<br>導入機能<br>・施設<br>(P 29<br>・32・36) | <p>研修室にリモートワークやオンライン学習等が利用できるブースを設置したらどうか。</p> <p>また、Wi-Fi環境が整い、オンラインで繋がることできれば、様々なイベントもリアルとオンラインを組み合わせたハイブリット式も開催できるため幅が広がると思う。</p>                          | <p>研修室にICT設備を導入し、研修等に必要な機能的な空間を計画する上で、参考にさせていただきます。</p> <p>また、施設内で利用者が利用可能なWi-Fi機能の設置を検討してまいります。</p>                           | 対応4<br>(事業参考) |
| 55 |  | <p>企業研修、家族での利用が考えられている。</p> <p>Wi-Fi設備はもちろんだが高速でインターネットにつながるがほしい。</p> <p>防災の観点からWi-Fi設備の充実は不可欠と考える。</p>   |  | 対応4<br>(事業参考) |
| 56 | IV.<br>導入機能<br>・施設<br>(P 29)           | <p>キャンプ施設については、ビギナーが気軽にチャレンジする場として、安心して使えるテントサイトがあれば平日でも利用される方がおられると思う。</p> <p>焚火をする方も多くおられると思うので、テントの横に焚火台を構えられる仕様ができれば素晴らしい。薪の利用が増えると思うので、調達先の確保も必要になる。</p> | <p>テント泊希望の方には、必要に応じてテント備品の貸し出しやテント設営・撤去方法等の活動支援を行ってまいります。</p> <p>また、ファミリーや小グループでのテント泊利用も推進するため、常設テントの整備や火の使用場所等も検討してまいります。</p> | 対応4<br>(事業参考) |

|    |                           |  |  |                 |
|----|---------------------------|--|--|-----------------|
| 57 | V.<br>施設整備<br>計画<br>(P30) | 地番は、池上町 3071-5 で<br>はなかったか。3073-1 他と<br>あるので、良いとも思いま<br>したが。   | 敷地概要の地番は、敷地<br>の中でも最も広い土地地<br>番 3073-1 を記載していま<br>す。ご意見も踏まえて、<br>3071-5 を追記いたします。<br>(P30)                           | 対応 1<br>(補足修正)  |
| 58 | V.<br>施設整備<br>計画<br>(P32) | 動き出している事業だと<br>思うが、現施設を残す選択を<br>再検討いただきたい。   | 現施設の整備から 40<br>年以上が経過し、施設の老<br>朽化と施設の不具合もあ<br>ることから、一部の建物を<br>除き建て替えを予定して<br>います。改修等で残せる施<br>設・設備の検討を追記しま<br>す。(P32) | 対応 1<br>(補足修正)  |
| 59 | V.<br>施設整備<br>計画<br>(P32) | 「体育館」は ICT を生かし<br>て、大型スクリーンなどの充<br>実があると良いのではない<br>か。   | 研修室に加えて、体育館<br>への ICT 設備の導入な<br>ど、研修に必要な機能的な<br>空間の検討を追記します。<br>(P32)  | 対応 1<br>(補足修正)  |
| 60 |                           | 3 年後、感染症がどのよう<br>に収束するかわからないが、<br>「換気システム」は研修室・<br>食堂などがあると良いと思<br>う。  | ご意見を踏まえて、各種<br>感染防止対策としての換<br>気システム等の設備設置<br>の検討を追記します。<br>(P36)   | 対応 1<br>(補足修正)  |
| 61 | V.<br>施設整備<br>計画<br>(P30) | 敷地が狭いように感じる。<br>周りの国有地の買収や市へ<br>の譲渡をすすめることで、さ<br>らに充実した活動ができる<br>のではないか。   | 新施設の整備にあたっ<br>ては、現敷地内で可能な整<br>備を行い、周辺の国有地を<br>活用した森林学習等の充<br>実を図ってまいります。   | 対応 3<br>(説明・理解) |
| 62 | V.<br>施設整備<br>計画<br>(P31) | キャンプ体験希望が多い<br>ことから、テントスペースが<br>多く取ればよいが、広場の<br>拡充又は傾斜地のさらなる<br>利活用ができるならば、バー<br>ベキューサイトの整備など、<br>野外調理ゾーンの拡充が生<br>きてくるだろう。 | 敷地内で可能な規模の<br>テントサイトの整備や広<br>場を有効活用した野外調<br>理ゾーンを検討してまい<br>ります。  | 対応 3<br>(説明・理解) |



|    |                           |  |   |                       |
|----|---------------------------|--|---|-----------------------|
| 63 | V.<br>施設整備<br>計画<br>(P30) | <p>食事は、交代制のないことが最重要と思われる。</p> <p>複数回に分ける必要があると片方の待ち時間のため、他の活動の支障となる。</p> <p>浴室も同様であり、洗い場が少ないと渋滞するので、多くの洗い場の確保も必要。</p>                                    | <p>大規模な団体から小規模の団体までの利用ができるように、可能なレイアウト計画を検討してまいります。</p>         | <p>対応4<br/>(事業参考)</p> |
| 64 | V.<br>施設整備<br>計画<br>(P31) | <p>自然学習ゾーン</p> <p>博物館との演習分館・みちくさ館の分館</p> <p>森林にふれ（木登りなど）</p> <p>木育を親子で製作</p>   | <p>博物館や地元等との連携により、地域資源等を活用したプログラムの提供など、自然学習活動等の充実を図ってまいります。</p> | <p>対応4<br/>(事業参考)</p> |
| 65 | V.<br>施設整備<br>計画<br>(P32) | <p>施設整備目的の対象者である、子どもたちにより愛着を持ってもらうために、外壁や内壁等の一部の仕上げについて、子どもたちに作業の一部を手伝ってもらったり、子どもたちが加工した木材を仕上げ材料に使用する等の工事段階での参画体験を検討してほしい。</p>                           | <p>子どもたちに愛され、親しめる施設となるよう、整備にあたっての参考にさせていただきます。</p>              | <p>対応4<br/>(事業参考)</p> |
| 66 |                           | <p>事務所からつどいの広場へ降りる石段は、自然の家のランドマークとなっていた。</p> <p>背景の金峰山との写真は、創業アルバムを彩る思い出の一枚となっていた。</p> <p>青空と金峰山と一緒に小学校時代の思い出を収めるロケーションの作成もデザイン時には、頭の片隅にでも置いていただきたい。</p> | <p>自然の家利用者の語らいの場や集合写真等の思い出の場所となっており、事業の参考とさせていただきます。</p>        | <p>対応4<br/>(事業参考)</p> |

|    |                                  |  |   |               |
|----|----------------------------------|--|---|---------------|
| 67 | V.<br>施設整備<br>計画<br>(P32<br>・34) | 施設整備には、熊本県産の<br>木材を活用<br><br>地元自治会の了解が得ら<br>れたら「自治会地区の区有<br>林」(50年)の活用   | 建物の構造種別等につ<br>いては、今後、設計条件や<br>要求性能に応じた構造を<br>検討してまいります。   | 対応4<br>(事業参考) |
| 68 | V.<br>施設整備<br>計画<br>(P36)        | ユニバーサルデザイン計<br>画において、障がい当事者等<br>の設計段階からの参画によ<br>り、UD化を図っていただき<br>たい。<br><br>特に、敷地に高低差が大き<br>いので、スロープではかなり<br>長くなる可能性があるため、<br>導線計画において、障がい当<br>事者の意見を取り入れてい<br>ただきたい。  | ユニバーサルデザイン<br>計画において、当事者の方<br>のご意見等を伺いながら<br>計画してまいります。   | 対応4<br>(事業参考) |
| 69 | V.<br>施設整備<br>計画<br>(P36)        | 施設内での Wi-Fi 機能の<br>設置を検討されているが、研<br>修等で活用できる高速でイ<br>ンターネットにつなげるこ<br>とができる Wi-Fi 設備の充<br>実は、必要不可欠と考える。  | 利用者の学習機会や企<br>業研修等における Wi-Fi 設<br>備の設置など、効果的な学<br>習機能の整備を検討して<br>まいります。                             | 対応4<br>(事業参考) |
| 70 |                                  | 研修室の ICT 機器の整<br>備は研修効果を高めるため<br>に有効と考える。しかし、デ<br>ジタル機器に囲まれて困っ<br>ている子どもたちにとって、<br>集団宿泊研修は、デジタル機<br>器からしばらく離れられる、<br>とても良い機会。<br><br>自然の中でお互い同士の<br>コミュニケーションを進め<br>る良い機会なので、宿泊室な<br>どには情報端末等を配備さ<br>れないようお願いする。 | 研修に必要な機能的な<br>空間の一つとして、研修室<br>への ICT 機能の導入を<br>検討しています。<br><br>宿泊室の情報端末の配<br>備等については、検討して<br>まいります。 | 対応4<br>(事業参考) |

|    |                                    |   |  |               |
|----|------------------------------------|---|--|---------------|
| 71 | VI.<br>事業手法<br>の検討<br>(P39～<br>41) | <p>運営面では、青少年活動と野外活動に深い理解と知識があり、施設の運営に情熱をもって取り組める組織、団体に運営を委託若しくは指定管理するのが望ましい。</p>  | <p>これまでの直営による運営だけでなく、民間の持つ知識や技術、人材等を活用できる運営手法を検討してまいります。</p> <p>事業手法については、従来方式の事業化だけでなく、民間資本の活用など、</p> | 対応4<br>(事業参考) |
| 72 |                                    | <p>従来の整備方式では、維持管理・運営を無視した設計がなされたケースがあり、長期の施設運営を考慮すると、DBOやPFI方式が好ましい。また、現在コロナ対策関連経費で市の財政状況がひっ迫しているため、イニシャルコスト低減のためにもPFI方式が好ましい。</p>  | 幅広い事業手法を検討してまいります。   | 対応4<br>(事業参考) |
| 73 |                                    | <p>PFI・PPP、BTOなどの方式が検討されているが、これらの方式では、建設系の営利企業が参入することが確実であるため、平等に自然体験をする目的は達成されづらい。また、運営開始後の自然体験の質が担保されづらい。</p> <p>新・自然の家の運営については、施設の設置目的や達成すべき上位目標と運営目的が一致する自然体験をプロモートする非営利団体などが適当ではないか。</p> <p>運営成功の鍵は、施設の清潔度など、ハード面も関連はするが、自然体験の質に左右されると考えられる。</p> |  | 対応4<br>(事業参考) |

|    |                                    |   |   |               |
|----|------------------------------------|---|---|---------------|
| 74 | VI.<br>事業手法<br>の検討<br>(P39～<br>41) | 事業手法として、民間活力を導入して、これまで以上に、公共サービスの充実を期待している。 | これまでの直営による運営だけでなく、民間の持つ知識や技術、人材等を活用できる運営手法を検討してまいります。 | 対応4<br>(事業参考) |
| 75 |                                    | 財源は、クラウドファンディング (CF) や企業の CSR を活用           | 事業手法については、従来方式の事業化だけでなく、民間資本の活用など、幅広い事業手法を検討してまいります。  | 対応4<br>(事業参考) |